

④新規用途開発による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

国産こんにゃく芋を用いたダイエット・低カロリー商品の開発・販売

永井大介が栽培したこんにゃく芋を使用し、(株)上杉食品が健康志向の高い低カロリー商品として、「こんにゃく麺」及び「こんにゃくスイーツ」の開発に取り組む。開発した商品は、付加価値の高い商品を取り扱う高級スーパーや外食産業に提供するとともに、新たにギフト・カタログ通販や宅配市場での販路開拓に取り組むことで事業拡大を目指す。

連携体

農林漁業者

永井大介(農業者)

(株)上杉食品が開発する「こんにゃく麺」「こんにゃくスイーツ」に必要なこんにゃく芋の栽培と安定供給に取り組む。

中小企業者

株式会社上杉食品 (法人番号5150001014764) (食料品製造業)

「こんにゃく麺」「こんにゃくスイーツ」を開発し、高級スーパーや外食産業、ギフト・カタログ通販等の販路開拓に取り組む。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構近畿本部

連携の経緯

こんにゃく製品において、現代の食生活や生活環境の変化に対応した付加価値の高い製品が必要と考えていた(株)上杉食品と、品質の高い国産のこんにゃく芋の新たな需要拡大を模索していた永井大介との思惑が一致したことから、今回両者が連携して国産こんにゃく芋を用いた「こんにゃく麺」及び「こんにゃくスイーツ」の開発と販売に取り組むこととした。

【開発商品の盛り付け例】



連携に当たっての課題や工夫等

消費者のライフスタイルの変化に伴い、昔ながらのこんにゃくの需要は年々減少しているが、一方では、こんにゃくはカロリーが極めて低く、植物繊維が豊富で整腸作用の効果が高いことから、健康に良いダイエット食品としてのニーズが高まり、こんにゃくを用いた低カロリー商品が注目されている。(株)上杉食品は、こんにゃく独特の臭みを抑える製法ノウハウをもっており、永井大介と連携することで、栽培する品質の高い国産のこんにゃく芋を計画に応じて安定的に確保することが可能となった。



連携による効果

農林漁業者

5年で4,740千円の売上高増

本事業を行うことで、こんにゃく芋の新たな需要拡大と安定した販路が確保できる。

中小企業者

5年で84,000千円の売上高増、収益性の改善

本商品で新たなユーザー獲得に向けた事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社上杉食品

T E L : 0745-72-2455

E - m a i l : info@uesugisyokuhin.co.jp

所在地 : 奈良県北葛城郡上牧町下牧3-7-53

F A X : 0745-32-2455

ホームページ : http://uesugisyokuhin.co.jp/